

あなたを輝かせる花『ユリ』と出会う日

10月31日(土)、11月1日(日)

全国初

全国ゆりサミットinふかや

切り花の輸入増加、後継者不足・・・花きをめぐる状況は非常に厳しいといわれています。そんな今こそ新たな道を作り、切り開いていく時が来ています。

今月は、全国で初めての取り組みとなる『ゆりサミット』について特集します。

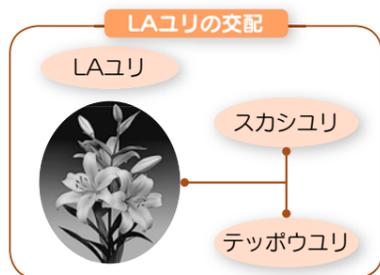
問い合わせ 農業振興課 (☎574-6648)

深谷市はユリの生産量日本一

深谷市はユリの切り花生産量が全国1位(農林水産省作付「花き」市町村別データ平成18年より)です。生産量は2300万本に上り、日本中に出荷されています。

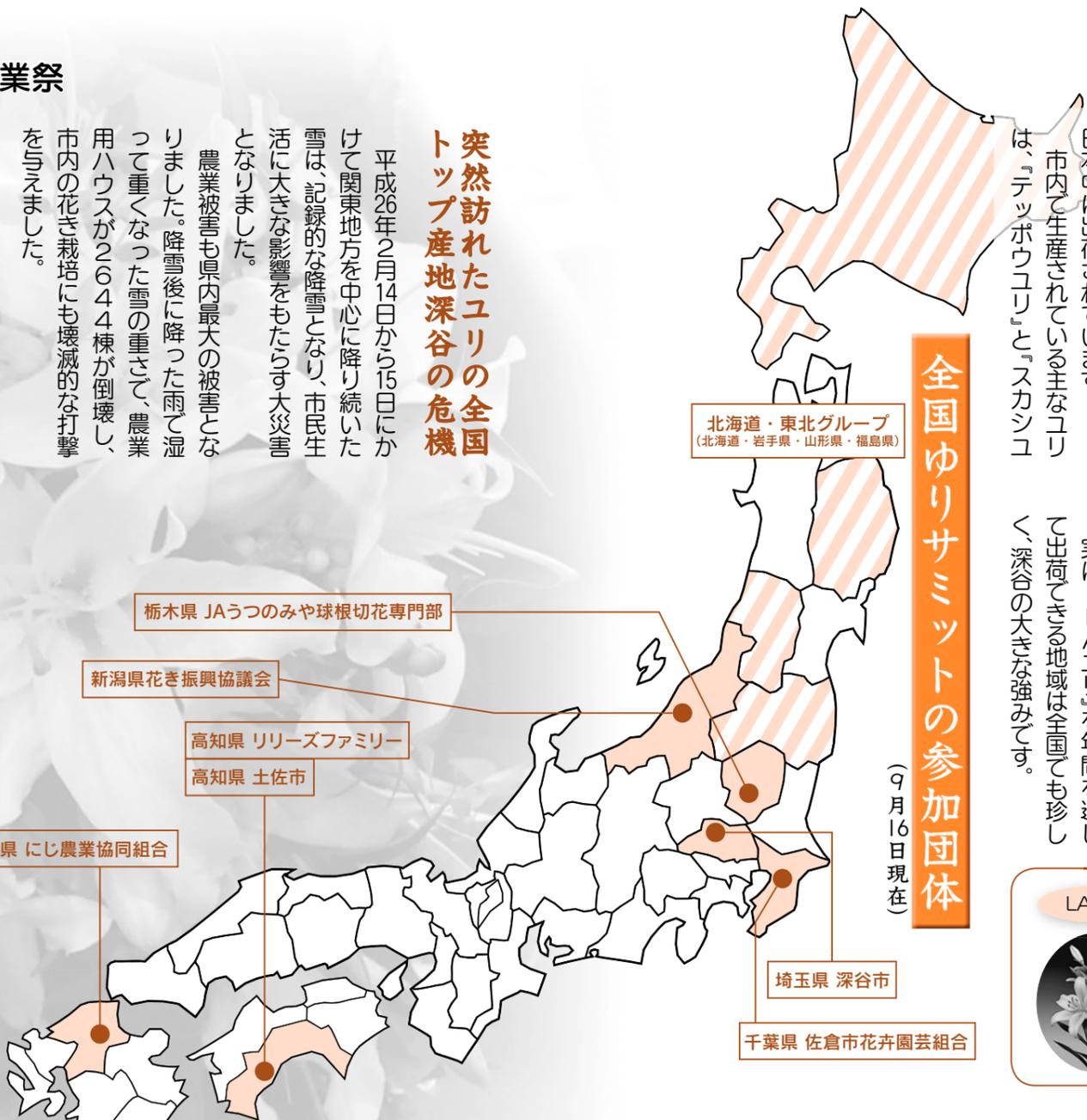
市内で生産されている主なユリは、『テッポウユリ』と『スカシユリ』の交配種の『LAユリ』が中心です。中輪の花を咲かせ、色の種類が豊かなことが特徴で年間を通じて出荷しています。

実は、『LAユリ』を年間を通じて出荷できる地域は全国でも珍しく、深谷の大きな強みです。



全国ゆりサミットの参加団体

(9月16日現在)



突然訪れたユリの全国トップ産地深谷の危機

平成26年2月14日から15日にかけて関東地方を中心に降り続いた雪は、記録的な降雪となり、市民生活に大きな影響をもたらす大災害となりました。

農業被害も県内最大の被害となりました。降雪後に降った雨で湿って重くなった雪の重さで、農業用ハウスが2644棟が倒壊し、市内の花き栽培にも壊滅的な打撃を与えました。

深谷の危機を救った生産地の絆

そんな深谷市の花き生産の危機を救ったのが、全国のユリの生産地でした。深谷の良きライバルであり、情報交換をする仲間でもあった全国の生産地や業界関係の方々が、倒壊したハウスの撤去などの支援に駆け付けました。支援は、市内の生産者の大きな助けとなり、復興を早めました。深谷市の花き生産の危機を救ったこの出来事は、これまでに以上に生産地同士の絆を深め、生産者は改めて産地間連携の重要性を確認しました。

全国から集うユリの名産地

全国で初めての取り組みとなる『全国ゆりサミット』が10月31日(土)、11月1日(日)に開催され、日本を代表する生産地が深谷に集まります。

どの生産地も切磋琢磨し、それぞれ良質なユリを生産しています。今回、ゆりサミットに合わせて、生産地の皆さんがブースを出店し、販売や展示、PRなどさまざまな取り組みを用意して皆さんをお待ちしています。また、ゆりサミットでは、ユリにちなんだ体験イベントやブライダルイベントなどを深谷ベースで行います。

ぜひ、全国ゆりサミットに来て、花の新しい魅力を発見してみてください。(4ページ参照)



▲深谷のユリ生産を支える深谷ゆり部会の皆さん。右から島田誠(しまだ まこと)さん、植竹好宏(うえたけ よしひろ)さん、桑原健治(くめはら けんじ)さん、関和勝宏(せきわかつひろ)さん

市内生産者が語るユリの未来

「どのようにしてお客さんに花を身近に感じてもらえるか」これが一番の課題だね。

そうですね。若い人の話を聞くと、家の中に花が一輪もない家庭が増えていくと聞きます。ユリだけではなく、花き業界全体の課題と感じます。

手間暇かけて花を育てるのが好きな人もいます。私たち生産者も花を育てる楽しみをもっと知ってもらえる工夫をし、花き文化の裾野を広げて行かないといけません。

もう、昔ながらのやり方では生き残っていけない。今、変えていかないと現役の花き農家は10年先、20年先を生き残れないよね。

はい。ただ、正直なところ自分では決定的な打開策は見つかっていないんです。「変える」きっかけを、全国ゆりサミットで他の生産地の皆さんとつかみたいですね。



私は、今回の全国ゆりサミットでは、全国の生産地の皆さんに大雪のときにお世話になったお礼を言いたいです。

大雪の時は、他県から倒壊したハウスの撤去にたくさんのかたが応援に来てくれ、とても助かりました。

あの時は、経験のない被害の大きさにぼうぜんとして声も出ず、お礼も言うことができませんでした。

あの大雪から1年半が経過して、市の補助も活用しながら生産も元に戻りつつありますが、まだやっと「復興途上」というのが今の感覚です。

一時は再建ができなかったのではないかと、というところまでいきました。地域の皆さんの温かい応援と理解があり、ハウスなどの施設再建の補助金があったおかげでここまで生産を立て直せました。

深谷のユリ生産の歴史は他の生産地と比べても長い。歴史が作った市場や地域の皆さんとの強いつながりで大雪の影響も乗り切ることができました。だから、これからも地域を大切にすることを目指しています。

そうですね。大雪のときにお世話になった皆さんに恩返しになるよう、全国ゆりサミットに最大限力を尽くしていきます。

ユリの魅力は、その「出来」が花にはつきりと表れること。全国ゆりサミットでは、私たち生産者が育てたユリをぜひ見に来てほしいですね。

全国ゆりサミットは、深谷だけでなく全ての生産地にとって、未来につながる「種」であり、花き業界全体を底上げする「肥料」になる取り組み。この取り組みが全国に広がってほしいと願っています。

特集 全国ゆりサミットin深谷×産業祭

第10回 深谷市産業祭

とき 10月31日(土)▶11月1日(日)

ところ 旧中山道沿線商店街周辺

【問い合わせ】 深谷市産業祭実行委員会(深谷商工会議所内・☎571-2145)

商工業製品展示販売&深谷農業博覧会

旧中山道沿線商店街周辺を舞台に、市内の事業者・生産者が『産業の魅力』を発信する秋の一大イベント！



子どもふれあいイベント

エアートランポリン『ふあふあふっかちゃん』、『お菓子のすくい取り』などイベントが盛りだくさん。他にもお菓子作り体験など、事業所が集まる産業祭ならではのイベントも同時開催！



ふっかちゃんカルナバール 検索

『ふっかーゴ』ステージイベント

仮装やコスプレで市イメージキャラクター『ふっかちゃん』になりきり、ふっかちゃんになりきり度を判定する『なりきりふっかちゃんアワード』をはじめ、ゆるキャラステージなど楽しいイベントが盛りだくさん！

なりきりふっかちゃんアワードは今年が最後の開催です。ぜひ会場にきてお楽しみください。



一膳めし 当地屋 (ごとうちや)

友好都市の岩手県田野畑村、新潟県南魚沼市、群馬県富岡市、静岡県藤枝市のご自慢グルメが大集合！お好みの料理で、自分だけのワンプレートを作りませんか。深谷市からは、煮ぼうとうと漬物が出店します。

市内小・中学校農産物販売ブース

市内の小・中学校の児童生徒が学校で育てた、新鮮で安全安心な野菜を販売します。

【参加校】
小学校＝深谷、藤沢、豊里、川本南
中学校＝深谷、上柴



産業祭の次は!! 『第6回青淵まつり』開催!



とき 11月8日(日)午前10時～午後3時30分

ところ 渋沢栄一記念館 駐車場

内容 深谷にちなんだ問題が満載のA-1(栄一)ウルトラクイズや深谷の名物が集まる飲食・物販コーナーなどイベントが盛りだくさんです。

問い合わせ 青淵まつり協議会(ふかや市商工会豊里支所内・☎587-2113)



LILY
SUMMIT
in FUKAYA

全国 ゆりサミット in ふかや

会場 深谷ベース(深谷町10-29)

全国のゆり産地が集結
ゆりの魅力を堪能できる
初めてのゆりの祭典

2015.10/31(土)・11/1(日)



深谷ゆり大使による
ゆりに包まれた、ブライダルショー

深谷ゆり大使(ミスユニバース埼玉大会ファイナリスト)がウエディングドレスでゆりを一層輝かせます。ぜひご覧ください。

問い合わせ：全国ゆりサミット in ふかや実行委員会
(農業振興課内・☎574-6648)



抽選で『深谷ゆり』プレゼント

当日会場にお越しのかたを対象に抽選で特産の『深谷ゆり』が当たります。ぜひ会場にお越しください。

さ。

索を



▲全国ゆりサミットホームページQRコード

あなただけのアレンジ
作品作り

全国初の試みの全国ゆりサミットでは、日本中の生産地が集結。各産地が工夫を凝らし、ゆりの販売・展示を実施。10月31日(土)には深谷ベースで「サミット宣言」を発表します。

ここでしか出会えない
全国のゆり